



「議会・議員の活動をもっと知っていただくために」～議会報告会を町内6か所で開催（4月20日 音調津）

ひろお 議会だより

No **182**

2017年6月1日発行

【平成29年第1回定例会】



「愛と平和 感謝と奉仕」
サンタランドのまち 広尾町

**子どもたちに安全な学習環境を
一般質問**（6人が登壇）

平成29年度予算可決

2

／流木処理／敬老祝金／防災係設置

11

追跡！どうなった？あの質問

17

総務常任委員会 **今後増える空き家 どう対応するか**

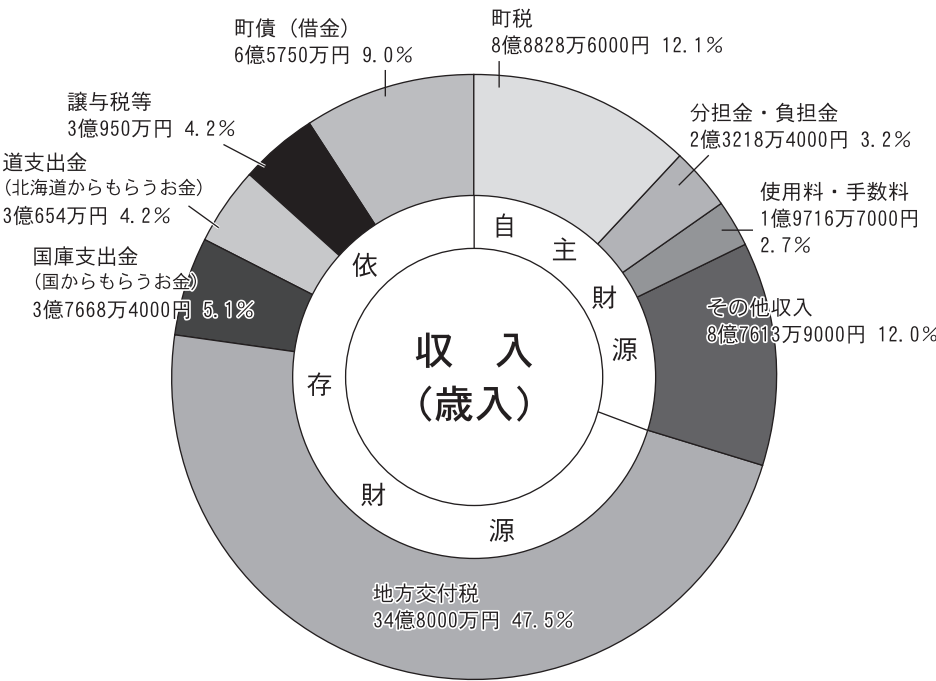
20

○発行・編集／ 広尾町議会・議会広報特別委員会 E-mail g-gikai@town.hiroo.lg.jp
〒089-2692 北海道広尾郡広尾町西4条7丁目 TEL 01558-2-0180（議会直通） FAX 01558-2-2114

ちに安全な学習環境を

3年総額10億円の大型事業がスタート

平成29年
第1回
定例会



平成29年第1回定例会は、3月7日(火)から17日(金)までの11日間の会期で開かれました。選挙管理委員の選挙、条例の一部改正や補正予算、平成29年度予算などが提案され、本会議・委員会での審議の結果、全議案を原案のとおり可決しました。

一般会計収入 (歳入) 合計 73億2400万円

◆平成29年度各会計の予算額

※平成28年度は町長改選期だったため、政策予算額と比較

会 計 名	本年度当初予算額	※前年度政策予算額	比 較
一般会計	73億2400万円	75億3078万円	△2億678万円
港湾管理特別会計	1億690万円	1億1620万円	△930万円
簡易水道事業特別会計	6720万円	7218万1000円	△498万1000円
下水道事業特別会計	4億9790万円	4億6738万3000円	3051万7000円
国民健康保険事業勘定特別会計	12億5500万円	12億6372万円	△872万円
介護保険特別会計	7億1400万円	7億1471万円	△71万円
介護サービス事業特別会計	2億6000万円	2億6611万7000円	△611万7000円
後期高齢者医療特別会計	1億720万円	1億300万円	420万円
国民健康保険病院事業会計	9億9616万2000円	9億9524万3000円	91万9000円
水道事業会計	2億5686万2000円	2億2621万3000円	3064万9000円
合 計	115億8522万4000円	117億5554万7000円	△1億7032万3000円

新たな借金は抑えたが、
地方交付税も大きく減少

主なしごと



豊似小学校の改築

5389万円

耐震性が確保されていなく、老朽化が進む豊似小学校の校舎を改築し、子どもたちが安心して学校生活を送ることができる施設環境を整備します。

※平成29～30年度 改築工事
平成31年度 旧校舎解体撤去、外構工事

高校生の下宿代補助

300万円

下宿する広尾高校生の保護者に下宿代などを助成します。

第2期ひろお未来塾

257万円

「第2期ひろお未来塾」を開講し、まちづくりのリーダーとなる人材を育成します。

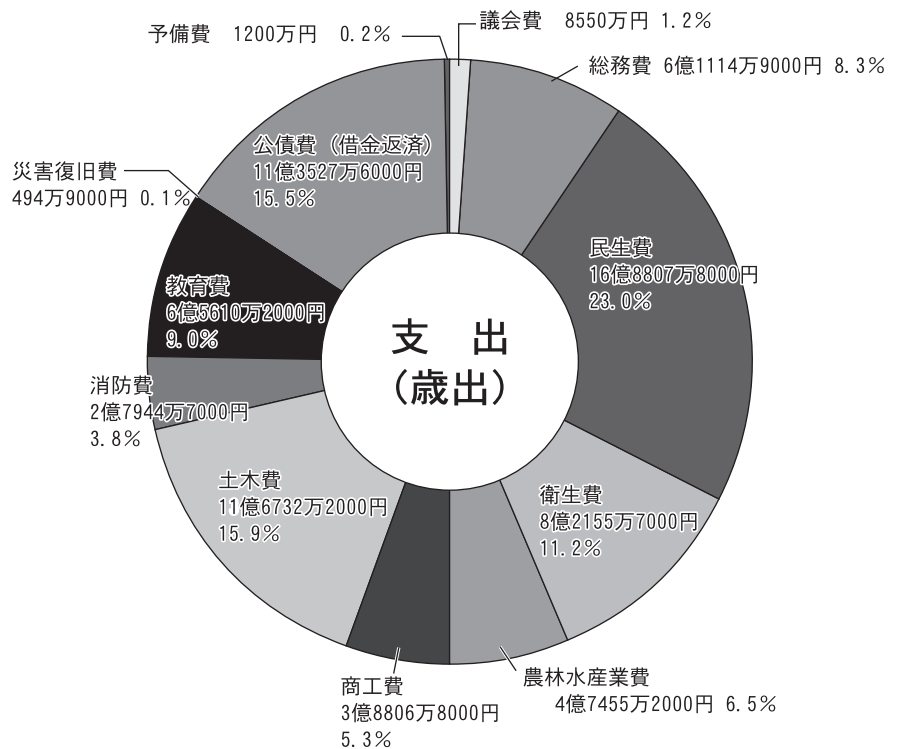


第1期ひろお未来塾の卒塾式 (H27. 2月)

平成29年度 予算

子どもた

豊似小改築



一般会計支出(歳出) 合計 73億2400万円

平成29年度予算審査のため、予算審査特別委員会(星加廣保委員長)を設置。一般会計、7特別会計、2企業会計の計10会計について、3月14、16日の2日間審査を行い、17日の本会議で討論・採決の結果、全会計総額115億円の平成29年度予算が可決されました。

※一般会計、後期高齢者医療特別会計は起立による採決を行い、両会計とも賛成9、反対3により可決。

収入の約半分を占める地方交付税は34億8000万円を見込み、前年度政策予算と比べて1億2000万円の減となりました。

町税収入は前年度政策予算比1・0%減の8億8828万円を見込んでいます。

町の借金にあたる町債の発行額は6億5750万円、前年度政策予算と比較して30・4%の減。防災関連の大型事業が一段落したので、新たな借入額が抑えられています。

平成29年度末の借金残高見込みは一般会計13億4657万円(全会計で162億5621万円)となっています。

【予算の概要】

次のページは
「新年度予算の質疑」

予算の使い道は

予算審査 特別委員会

3/8, 14, 16

委員長 星加廣保
副委員長 小田雅二

新年度予算についての
質疑内容を抜粋、
要約してお知らせし
ます。

臨時職員賃金

問 来年度は最低賃金と
逆転することが予想
される。賃金引き上げ見
送りは理解しがたい。

答 29年度の引き上げは
見送ったが、30年度
に向け検討していく。

地域おこし協力隊

問 コーディネート業務
委託料の内容は。

答 活動用車両費、パソ
コン借上げ料、研修
旅費、住居費の一部等で
102万円、隊員への指
導・サポート業務にかか
る人件費234万円、一
般管理費等で63万円。

問 コーディネート業務
を委託せず、直接支
払いをすることで諸経費

等の金額を減額できる。

ほとんどの町村は外部委
託していない。財政が大
変な時に予算を付けて委
託しなければならない理
由がない。見直すべきで
は。

答 隊員の活動をサポー
トするために外部の
専門機関にアドバイスを
受けることが重要と考え
ている。事業内容を精査
し、今後補正予算で見直
し対応する。

防犯カメラ

問 1か所設置すること
となったが、今後の
設置予定は。

答 広尾小学校の通学路
を見渡す広尾保健所
付近に1基設置する。運
用していく中で、今後増
設するかの検討材料とし
たい。

移住体験

問 利用者向け体験型プ
ログラムの具体的な
内容は。

答 魚さばき料理体験や
酪農や野菜収穫体験、
パークゴルフ体験などを
メニューとして想定して
いる。

後期高齢者健診

問 受診率は上がってい
るとはいえ、まだま
だ管内的には低い。受診
率増に向けての取り組み
は。

答 27年度の受診率は8
・6%。全員に受診
券を送付し、受診を勧め
ているが結果に結びつい
ていない。家庭や町内会
などに出向き、直接お願
いすることを繰り返して
いきたい。

保育士

問 25年度から臨時職員
が5人正職員化され
た。現在の正職員と臨時
職員の割合は。

答 現在保育士20人中、
正職員14人、臨時職
員6人となっている。

町営牧場

問 29年度まで休止して
いるオソウシ牧場の
草地更新予算が計上され
ているが、今後の牧場運
営の見通しは。

答 ダニの生息を減らす
ため除草剤を散布し
た古い草地について来年
度更新を予定している。
現在の受け入れ状況だと
東豊似1か所での運営も
可能。30年度以降の再開
については農家の意向、
関係機関との協議を踏ま
え、予算編成の時期まで
に判断していきたい。

映画脚本作成

問 襟裳岬緑化事業をテ
ーマにした映画の脚
本作成負担金が計上され
ているが、今後の映画化
の見通し、その場合の経
費負担の想定は。

答 広域連携のつながりで
負担を求められた面もあ
ると思うが、事務レベル
で慎重に進めるべきでは。
脚本作成費をえりも、
浦河、様似、広尾の
4町で負担する。脚本完
成後、出資する企業を募
り、その状況により映画
化という話になってくる。
感触が悪ければ映画化断
念もあることから、制作



新年度



多額の費用をかけて整備された十勝港、今後の利活用の見通しは

費について現時点では積算できない。

4町の観光資源を結びつけることにより、地域への経済効果も表れてくる。今後も事務レベルで情報交換しながら慎重に進めていきたい。

イルミネーション

問 庁舎前のイルミネーションは消さずにつけておくべきでは。

また、オス口通りを整

備してイルミネーションを点灯する考えは。

答 庁舎前も含め、イルミネーションの点灯期間を再度検討したい。

オス口通りも現状を確認し、整備できるか検討したい。

高校生下宿

問 29年度の希望者数は、どの程度受け入れする予定なのか。

答 新入学生でえりも町から4名の希望者がいる。在校生でも1名が検討中。えりも町の庶野・目黒地区に学年7、8人の生徒がおり、それらに対応できるように、民間事業者が整備を進めていると聞いている。部屋数は10室とのこと。

パークゴルフ場

問 財政がひっ迫する中、有料化の検討はしたのか。愛好者の意向を確かめることも必要では。

答 管内の状況を調査し、パークゴルフ協会や地域の方々の意見を聞きながら検討していく。

指導員報酬

問 キッズ英会話指導員の報酬が増額となっている理由は。

答 当初は未就学児のみ対象としていたが、小学生やつじ児童会の指導など業務が増加しているため。

子ども交流事業

問 西海市との交流、中学生の海外派遣事業について新年度の予定人数は。また、自己負担金額はいくら徴収しているか。

答 西海市との交流は10人、自己負担額は1家庭2万7000円。中学生海外派遣は従来の12人から8人へ、自己負担額も7万5000円から5万円へと変更する予定。海外派遣には諸経費合せて10数万円かかる家庭があると聞いている。

討論

後期高齢者医療特別会計

※一般会計はP7に掲載

反対

旗手恵子委員

賛成

山谷照夫委員

高齢者への配慮必要

必要不可欠な予算

現在の保険料は28・29年度の保険料として決定されたものであり、軽減特例の見直しとはいえ、計画年度途中で被保険者に負担を求めるのは違約行為と考える。低所得者問題が改善されず、軽減特例を減額廃止する根拠もないことから、本案に反対する。

低所得者に対する軽減措置などの制度改正を行っており、高齢者が医療を受けるうえで必要な制度である。

制度を運営している広域連合に加入している広尾町として提案された予算は必要不可欠であることから、本案に賛成する。

ホームステイ予算は不要

修正案は否決

小田雅二委員から、ホームステイ事業費735万円を減額する修正案が提出されましたが、賛成少数で否決されました。

【賛成1、反対10】

町の予算は町民のために使うべき

大変意義のある事業だが、800万円以上の予算が使われる。その多くは都市から来る子ども達の旅費に充てられており、交通費などの自己負担は

ない。厳しい財政状況の中、この事業は認められない。町の予算は町民のために使われるべきである。

負担に疑問あり

町が全額負担することの是非は

新年度予算

子ども農山漁村 交流事業

826万円

昨年策定した「広尾町総合戦略」に基づき、平成29年度も4つの政策分野について、地方創生の取り組みを推進します。

その1つとして、都市部の子どもたちを漁村ホームステイで受け入れ、交流人口の増加を図るとともに、産業振興や地域活性化につなげる「子ども農山漁村交流事業」を昨年から継続して実施します。



ふるさと納税を 財源に活用

問

平成28年度は全額国の交付金で事業を実施したが、新年度予算では一般財源しか財源として見込まれていない。国の交付金の活用は。また、他の財源の見込みは。

答

国の地方創生推進交付金の活用を見込んでいたが、基準が厳しくなり断念した。

29年度は「ふるさと納税」に加え、昨年創設された「企業版ふるさと納税」を活用する。

問

広尾町が実施している中高生の海外派遣や長崎県西海市との交流については参加者の自己負担があるのに、この事

業では東京から来る子どもたちの旅費や滞在費を広尾町が全額負担するというのは理解できない。

問

せめて旅費は全額来る方で持つべき。財政難でいろいろな事業を縮小している中、旅費、滞在費を全額広尾町で負担するということは町民の理解が得られない。

事業内容の趣旨については否定しないが、この事業は広尾町でやるべきではない。

答

地方創生の取り組みには地域間連携が必要。都市部にメリットのある事業なので、都市部からのふるさと納税を財源としたい。

将来につながるきつかけを作るためにも必要な事業であり、子どもの交流事業をかけ橋として都市と地域との結びつきを作り、産業振興を図っていく。また、広尾の応援団になってもらいたいという狙いもある。



村瀬町長からの

行政報告

※内容は要約しています。

第5次まちづくり総合計画「第3期実施計画」の策定

の事業費総額は122億9711万5000円となる。

公用車の交通事故

「実施計画」は3年ごとに見直しすることとしており、平成29～32年度の4年間の事業計画を載せた「第3期実施計画」を策定した。

12月9日に帯広市の交差点で公用車が一時停止の標識を見落とし、右から走行してきた車両に追突し破損させた。

今回の見直しで4年間の年度別事業費総額が13億2248万2000円の増となり、見直し後

この事故によるケガ人はいなかった。

問

28年度に実施したホームステイ事業の報告もない。また、29年度にどのような事業を実施するか的事前説明もなかった。質疑がなければ内容は示さないのか。議会で審査するための最低限の資料は提出されるべきと考えらるが。

答

資料がなかった点ははお詫びしたい。

28年度の事業は、町民等が委員となっている「まち・ひと・しごと創生総合戦略策定推進委員会」による達成度の検証等を行い、その協議結果を踏まえて議会へ報告を考えている。



広尾で過ごした時間は子どもたちの大きな経験に

漁村 ホーム ステイ

費用

《子ども農山漁村交流事業 事業費内訳》

対 象：東京都荒川区尾久西小学校 5 年生65人

事業費：826万円

(内訳)

報償費91万円 (受入漁家への謝礼)

委託料288万7000円 (人件費、教材費、旅費など)

交付金446万3000円 (広尾町への交通費、滞在費など)

《一般会計予算採決結果》

賛成 9 反対 3
可決



社会的弱者である高齢者や障がい者、低所得者の支援に力を注ぎ、住民福祉の向上を図ることが必要である。

農山漁村ホームステイの受け入れ旅費等を全額広尾町で負担することは町民の理解が得られない。

また、老人ホームや特養の待機者対策も早期に講ずるべきと考え、本案に反対する。

産業振興や子育て支援の継続実施や、広尾高校の存続に向けた取り組みも拡充されるほか、「ひろお未来塾」2期生の立ち上げなど人材育成事業も展開される。

財政運営は今後さらに厳しくなる見通しであり、行政改革に取り組み、健全な財政基盤の確立に努めていただくことを申し上げ、本案に賛成する。

反対

住民の福祉向上を

前崎 茂 議員

賛成

健全な財政確立を

小田 英勝 議員

討論

(平成29年度一般会計予算)

平成29年度予算を可決

選挙管理委員

委員・補充員に

8人が当選

任期満了による選挙管理委員・補充員の選挙が行われ、次の方々が当選されました。

※任期は平成33年3月11日までの4年間

【選挙管理委員】

㊤宮脇昭道さん

【選挙管理委員補充員】

㊤中山美智子さん

㊤齊藤延幸さん

㊤近藤史和さん

㊤小山内國男さん

㊤下森久仁子さん

㊤辻田廣行さん

㊤鎌田利則さん

その他決まったこと

- ◎除排雪費用増に伴い、2000万円を追加する平成28年度一般会計補正予算の専決処分を承認しました。
- ◎任期満了による人権擁護委員候補者の推薦を「適任」としました。人権擁護委員～加藤 紀夫さん (再任)
- ◎工事請負契約を締結しました。
【工事名】 錦町団地公営住宅11・12・13号棟建築主体工事
【契約額】 1億1102万4000円
【契約相手方】 株式会社濱中建設 (東3条12)
- ◎交通安全専任指導員の1時間当たり報酬額を「1160円」から「1400円」に増額しました。
- ◎マイナンバー法の改正に伴い、個人情報保護条例の必要事項を改正しました。
- ◎消費税率引き上げ延期による法改正に伴い、税条例の必要事項を改正しました。
- ◎重度心身障がい者、ひとり親家庭の中学生までの児童にかかる医療費について、病院窓口で自己負担分を支払う必要がなくなりました。
- ◎国保病院の職員に支給する特殊勤務手当に「救急呼出待機手当」を新設しました。
- ◎事業費の変更、事業実施の先送りに伴い、「辺地に係る公共的施設の総合整備計画」を変更しました。



次のページは「意見書・議案の賛否・議員の出欠」

子ども医療費無料化

法的整備を

意見書2件を可決し、国等へ提出

※内容は要約しています。

**国民健康保険財政調整
交付金削減のペナルティ
の廃止を求める意見書**

提出者 前崎 茂議員

厚生労働省は、厳しい財政事情の中でも子ども医療費の助成を行い、子育てしやすい環境づくりに取り組んでいる地方自治体の障害となっていた国民健康保険財政調整交付金削減のペナルティを、小学校入学前までにについて廃止する方針を示した。全ての都道府県においてさまざまな助成制度を実施しているが、地方単独事業であるため、助成対象年齢など地域間格差が生じている状況にある。

よって、ペナルティの全面廃止と廃止に伴い生じる財源を市町村の判断で活用させること、併せて、どこに住んでいても、全ての子どもが等しく育

**「準要保護世帯」に対する
就学援助の拡充を
求める意見書**

提出者 旗手恵子議員

2017年度予算案で「要保護世帯」に対する就学援助のうち、新入学児童生徒に対する入学準備費用の国の補助単価が引き上げられ、関係者は大変喜んでい

しかし、生活保護世帯に準ずる程度に困窮する世帯である「準要保護世帯」に対しては、2005年に就学援助の国庫補助金を廃止し一般財源化したことで、支給額や基準を縮小している自治体が増え、さらに2013

年から2015年の生活保護扶助基準引き下げにより、所得基準が変わったことで就学援助の基準も下がり、対象から外される家庭も生まれている。子どもの貧困が深刻化する今こそ就学援助制度の強化が求められている。よって、「準要保護世帯」への国庫補助金を復活・拡充させると同時に、単

価に見合った交付税算定額の引き上げを強く求める。

提出先（両意見書とも）

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣・厚生労働大臣

請願書

**「本通公園」の名称を「丸山公園」へ復元を求める
請願書**

請願者

12丁目町内会長 旗手 清
13丁目町内会長 川津弘二

紹介議員 旗手恵子議員・
萬亀山ちず子議員

【請願の趣旨】

由緒ある「丸山公園」がいつの間にか「本通公園」に変更され、地元12丁目・13丁目の住民として看過できない。

丸山公園は広尾町史によると明治33年には造成

され、都市公園として認定もされており、歴史的遺産と言える。公園名の変更で歴史が不明になりにかねない。

また、災害時に「丸山公園」に避難指示が出たとしても、町民の多くは本通公園に避難することが予想され、混乱を招く原因となる。

「本通公園」の名称を「丸山公園」へ復元することを求める。

※産業常任委員会へ付託され、閉会中に審査することとなりました。

平成29年 第1回定例会 議案審議結果

●賛否のあった議案（議案名は一部省略しています）

賛成：○ 反対：× 欠：欠席

議 案 名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	議決結果
	浜野	萬亀山	北藤	前崎	志村	山谷	星加	渡辺	こだ	おだ	旗手	浜頭	堀田	
平成29年度一般会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	—	可決 (9-3)
平成29年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	—	可決 (9-3)

※堀田議員は議長のため、採決には加わりません。



※要保護世帯
生活保護世帯と同程度に困窮している世帯

議員の会議等出欠状況をお知らせします

(平成28年12月定例会終了後～平成29年3月定例会まで)

(1) 定例会・臨時会

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退

			議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
			議 員 名	浜 野	萬 亀 山 ち ず 子	北 藤 利 通	前 崎 茂	志 村 國 昭	山 谷 照 夫	星 加 廣 保	渡 辺 富 久 馬	小 田 ^{こた} 英 勝	小 田 ^{おた} 雅 二	旗 手 恵 子	浜 頭 勝	堀 田 成 郎
開催日	開催会議名・主な内容			隆												
1／24	第1回臨時会（補正予算）			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3／7	第1回定例会（条例改正など）			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3／8	第1回定例会（補正予算など）			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3／9	第1回定例会（一般質問）			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
3／17	第1回定例会（新年度予算など）			○	○	○	○	○	○	早	○	○	○	○	○	○
3／30	第2回臨時会（工事契約締結など）			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
開催日数計		6日	出席日数計	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	6

(2) 委員会

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 ー：所属外

		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	浜野隆	萬亀山ちず子	北藤利通	前崎茂	志村國昭	山谷照夫	星加廣保	渡辺富久馬	小田英勝	小田雅二	旗手恵子	浜頭勝	堀田成郎
開催日	開催会議名・主な内容														
1／24	議会広報編集会議		－	○	○	－	－	○	－	－	○	－	○	○	－
1／26	第1回総務常任委員会		－	○	－	－	－	○	－	－	○	○	○	○	○
2／1	第1回産業常任委員会		○	－	○	○	○	－	○	○	－	－	－	－	○
2／14	第1回議会広報特別委員会		－	○	○	－	－	○	－	－	○	－	○	○	○
3／2	第1回議会運営委員会		○	－	－	○	○	－	○	○	－	○	－	○	○
3／7	予算審査特別委員会（正副委員長互選）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
3／8	予算審査特別委員会（補正）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
3／14	予算審査特別委員会（新年度）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
3／16	予算審査特別委員会（新年度）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
3／16	第2回議会運営委員会		○	－	－	○	○	－	○	○	－	○	－	○	○
3／17	議会広報編集会議		－	○	○	－	－	○	－	－	○	－	○	○	－

※堀田議員は議長のため、各委員会に所属していませんが、オブザーバーとして出席しています。

※副議長の浜頭議員は、議会運営委員会にオブザーバーとして出席しています。

※予算審査特別委員会は、議長を除く議員で構成されています。

(3) 議員協議会・研修・その他

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 ー：対象外

		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議 員 名	浜野隆	萬亀山ちず子	北藤利通	前崎茂	志村國昭	山谷照夫	星加廣保	渡辺富久馬	小田 ^{こだ} 英勝	小田 ^{おだ} 雅二	旗手恵子	浜頭勝	堀田成郎
開催日	開催会議名・主な内容														
1／24	議会モニター会議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2／8	議会懇談会（広尾高校・2班）		－	○	－	－	○	－	－	○	－	×	－	○	○
2／14	第1回議員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2／21	議会懇談会（漁協女性部・3班）		－	－	×	○	－	－	○	－	○	－	－	○	－
3／8	第2回議員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	遅	○	○	○
3／22	議会懇談会（商工会女性部・1班）		○	－	－	－	○	○	－	－	－	－	○	○	－
3／30	第3回議員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



次のページは「補正予算・町政
執行方針・一般質問」『流木処理』

ふるさと納税

目標下回る結果に

主力の「毛がに」申し込み伸びず

平成28年度 補正予算の内訳

一般会計 ⑪、⑫、⑬	80億5018万円	△1億7598万円	減
港湾管理特別会計 ⑥	1億2588万円	844万円	増
簡易水道事業特別会計 ⑦	8433万円	123万円	減
下水道事業特別会計 ⑥	4億3362万円	2594万円	減
国保事業勘定特別会計 ⑤	12億944万円	6547万円	減
介護保険特別会計 ⑤	6億7159万円	6040万円	減
介護サービス事業特別会計 ⑤	2億5731万円	830万円	減
後期高齢者医療特別会計 ②	1億321万円	21万円	増
国保病院事業会計 ⑦	収益的収入・支出 8億6218万円 資本的収入・支出 1億889万円	2553万円 19万円	減
水道事業会計 ⑤	収益的収入 1億4485万円 収益的支出 1億6281万円 資本的支出 5846万円	102万円 368万円 336万円	減

※会計名の後の丸数字は補正回数 (1万円未満切り捨て)

予算審査特別委員会

委員長 星加 廣保
副委員長 小田 雅二

3/7, 8

一般会計ほか9会計の平成28年度補正予算案10件を、3月7日に設置された予算審査特別委員会に付託。同委員会で審査を行い、全補正予算を原案のとおり可決すべきと決定しました。

問 今年度の寄附金見込みから6割近い減額となった理由は。

◎平成28年度は5808件、8560万円のふるさと納税が寄せられました。

確定見込みにより、寄附金収入や謝礼品などに係る予算を減額しました。

ふるさと納税寄附金収入
△1億1528万円
ふるさと納税推進費
△4414万円

問 返礼率が6割近くに なっており、当初の説明より高額となっている理由は。

毛がに
申し込み件数
H27 約3300件
↓
H28 約1300件

答 毛がにに重点を置き、1万件を目標としていたが、昨年度より毛がにの重さを軽くしたこと、魅力が薄れ、申し込みが減ったのではないかと。今回の経験を活かし、新年度は慎重に予算計上していく。

問 新年度からは積み立てた寄附金を財源として充当していく。

答 ふるさと納税への取り組みが本格化したのは昨年度からということもあり、平成28年度は一般財源で調整している。新年度からは積み立てた寄附金を財源として充当していく。

問 ふるさと納税経費の一部が一般財源から充てられている。全て寄附金から充てざるべきではないのか。

答 毛がにの価格が高騰したこともあり、返礼率は当初の見込みより高くなっている。

教育行政執行方針

学校と地域 協働の推進を



笹原教育長は平成29年度教育行政執行方針で、「子どもたちには幅広い知識・教養、柔軟な思考力とともに他者と協働する能力が求められている。これらを育むためにも学校、地域、関係機関が連携し、協働の取り組みを図っていかねければならない。町長部局と連携し、将来の広尾町を担う子どもたちの健全育成と学校教育、社会教育のより一層の充実に取り組んでいく」と述べました。

町政執行方針

地方創生の 取り組みを加速



村瀬町長は平成29年度町政執行方針で、「地方創生の取り組みを『雇用対策』『移住定住対策』『少子化対策』『人づくり』の4つの柱を中心に実施し、第1次産業の活性化、人口減少対策を推進していく。財政調整基金を取り崩す非常に厳しい財政状況にあるが『地域の自立と豊かな暮らしをめざして』という強い想いをもち、全力で取り組んでいく」と述べました。

ズバリ 町政を問う

一般質問

一般質問とは・・・

議員が定例議会で町長など執行機関の考え方について、報告を求めたり、疑問をたずねることです。

広尾町議会では1回目は一括質問方式、2回目以降は一問一答方式となっています。

議会だよりでは、内容を要約して掲載しています。

3月定例会では、
6人の議員が一般質問を行いました。



広尾サンタランドマスコットキャラクター「さーたちゃん」

●一般質問 項目一覧

志村國昭議員	流木止め設置と沈木回収の要望を	P11
前崎 茂議員	敬老祝金は現行水準を維持すべき	P12
	旧広尾・丸山保育所跡地の有効活用を	
	町道の整備 なぜ先送りしたのか	P13
旗手恵子議員	就学援助 入学準備金 3月支給実施を	P13

旗手恵子議員	マイナンバー制度 町民の不安は大きい	P14
山谷照夫議員	防災係を設置する考えは	P14
小田雅二議員	なぜ敬老祝金を縮減するのか	P15
	まちづくり計画 大幅な見直しの原因は	
北藤利通議員	サンタランド事業 今後の展開は	P16

質問 昨年の洪水で大量の流木が発生し、漁業に大きな影響を及ぼした。国の支援で沈木の回収を行ったが、まだ相当量が残された状況であり、事業の継続要望が必要である。

また、流木止め（流木捕捉工）が設置された河川を独自で調査したが、その機能と効果を歴然と感じた。報道でも、流木に起因する被害軽減に有効な工法と紹介され、各河川への設置で大きな効果が期待できる。

土砂で埋まり機能が低下した既存の砂防ダムの維持管理やスリット式への改修なども併せて国や道に要望すべきでは。



志村國昭 議員

流木止め設置と
沈木回収の要望を

町長 関係機関と連携し、
国・道へ要望する

答弁 村瀬町長

平成28年度に限り地元負担がない事業を活用し、沈木の回収、処理を行っているが、事業費に上限があり作業面積が限られるため、思うように進められていない。来年度以降も災害対応として、継続して事業が実施されるよう、関係機関と連携して国、道へ要望する。

流木止めは、河川増水時に現場を確認し、効果を検証している。引き続き維持管理について要望するとともに、新たな設置についても関係機関と協議しながら要望していきたい。



音調津川に設置された流木捕捉工

次のページも「一般質問」
『敬老祝金・保育所跡地・道路整備・就学援助』



※スリット式

溪流の流れをさえぎることなく、平常時には土砂を流下させる一方、土石流や洪水時に土砂の流出を捕捉し、洪水が収まるとその土砂を流下させる方式のこと



まえざき 前崎 茂 議員

敬老祝金は 現行水準を維持すべき

町長 将来を見据え、
見直しを図りたい

質問

昭和43年に設けられた敬老祝金は、支給額5000円を平成6年度に所得税非課税者には4万1000円に引き上げたが、見直しにより平成22年度から支給年齢を75歳以上に、支給額を2万7000円（課税者には2万2000円）に引き下げた。平成30年度から一律支給をやめ、喜寿、米寿、100歳の方に支給する方針だが、各種年金額の減少、介護保険料等の引き上げにより、貯蓄ゼロ世帯は3割と15年前の3倍に増加している中、「敬老祝金を残してほしい」との声に対し、一律支給を存続すべきでは。

答弁 村瀬町長

本町の財政状況は、避難所施設の耐震改修等防災対策実施に伴う借金の増加、今後の公共施設老朽化に伴う改修費の増加、借金返済額の増加など、非常に厳しい見通しとなっている。

しかし、高齢者が住み慣れた地域で、安心安全に暮らし続けるために必要な福祉と介護サービス事業は継続していかなければならない。そのためにも、十勝管内他市町村の多くが敬老祝金を支給している年齢、支給額に見直しを図りたい。



見直し案では年4000万円の削減に

まえざき 前崎 茂 議員

旧広尾・丸山保育所跡地の有効活用を

町長

町民の意見を聞きながら進める

質問

ひろお保育園が平成28年4月に開設され、旧広尾・丸山保育所は3月で閉鎖された。

耐震化されていない旧保育所の早期解体・撤去と遊具設備の整備等により、子どもたちが遊びふれあう児童公園のような有効活用を地域住民は待ち望んでいる。

保育所等の解体・撤去等の除去事業にかかる「公共施設等適正管理推進事業債」の活用など、両保

育所の解体・撤去と遊具整備はどのように考えているのか。

答弁 村瀬町長

子どもたちの安全で安心な保育環境を整備するため、ひろお保育園を建設した。

築40年が経過している旧広尾・丸山保育所は老朽化し、耐震性能もないため、将来的には取り壊す予定である。取り壊し時期については、公共施設等総合管理計画

に基づき、財政状況を勘案しながら検討していく。

跡地の有効活用については、町民の意見や要望を聞きながら、まちづくり計画などの各種計画と整合性を図り進めていきたい。



子ども達の遊び場、増えることに期待

町道の整備 なぜ先送りしたのか

町長 今後、財政赤字が見込まれたため



生活道路の整備が待たれる

質問

町政執行方針で「町道の維持補修や道路整備については、生活環境の向上を図るため、計画的に実施する」とされているが、第5次広尾町まちづくり推進総合計画では、道路整備事業が20路線、事業費で2億6159万円が先送りされ、実施率は42%と実施するより先送りした事業の方が多くなっている。長年待たされてようやく整備されると期待していた住民からは落胆の声が聞かれるが、平成33年度以降の実施計画はどのように考えているのか。

答弁

村瀬町長

人口減少をはじめとするさまざまな情勢の変化により、財政収支計画の大幅な見直しを行う必要が生じたため、まちづくり計画の実施計画に登載している事業全般にわたって、内容の見直しや削除、第6次計画への延期を判断した。

道路整備については現場を確認して判断したが、計画にない道路においては、維持補修で対応していく。今後の町道整備については、第6次計画を策定する中で、道路状況を確認し、優先順位の検討を行い、進めていく。

質問

昨年9月定例会で同趣旨の一般質問をした際に教育長は「早期支給に向け調査する」と答弁された。



はたて 旗手恵子 議員

答弁

笹原教育長

各自自治体の実施状況や課題、十勝管内自治体の動向等、関係者と情報交換などを進めてきた。現在も先行実施している自治体の資料を取り寄せている。

前倒し支給については、転出による二重支給などが懸念される点もあり、国において統一された基準が必要と考えるが、関係部局と連携し、前倒し支給できるよう検討を進める。また、保育園などを通し、2月頃から周知を図っていききたい。

就学援助

入学準備金

3月支給実施を

教育長 実施に向け検討する

道内で3月支給を決めた自治体

札幌市・苫小牧市・室蘭市・江別市・夕張市
奈井江町・美幌町・津別町・豊浦町・寿都町
洞爺湖町・長沼町・栗山町・新冠町・土幌町
本別町 (16自治体)

次のページも「一般質問」
『マイナンバー・防災係・敬老祝金・大型事業』

※国の新入学児童生徒学用品費等補助単価が平成29年度から引き上げられました
小学生 2万4700円→4万6000円
中学生 2万3550円→4万7400円

マイナンバー制度 町民の不安は大きいが

町長 正しく理解してもらうよう周知を図る



マイナンバーキャラクター
「マイナちゃん」

質問 制度運用から1年3か月が経過したが、通知カードは全世帯に届いたのか。また個人番号カードの申請数と交付率は。政府が個人情報を一元管理することへの町民の不安が払拭されていないことが、低い交付率となっているのではないか。

確定申告でマイナンバーが未記載でも国税庁は受理するとし、罰則規定もないことを町民に周知しているか。

市町村が事業者に送る「住民税の特別徴収決定通知書」にマイナンバーを印字することにも不安の声がある。番号法19条は、個人番号の提供とその例外を定めている。「義務ではない」ことをはっきりさせるべきでは。

答弁 村瀬町長

平成29年2月末現在、通知カードの保管件数は7件。個人番号カードは申請526件に対し、交付440件。人口に対する交付率は6・1%である。国は個人情報の分散管理など、さまざまな保護措置を講じ、懸念払拭に努めている。個人番号カードの利便性が向上され、メリットが十分理解されれば交付率が上がると考えている。

確定申告については、受付時に住民へ個々に説明し、対応している。

マイナンバーの印字については、法律上義務ではないが、国からの通知で市町村の判断で行わないこととし、よう指導があり、それに基づき本町では事務を進めている。



やまや
山谷照夫 議員

質問

異常気象による災害対応が重要

視される中、現在本町では役場機構に防災係の部署を設けず、企画課がその役割を担い、積極的に取り組みを行っている。

十勝沖大地震が発生した際には、十勝港に最大29・4メートルの津波が想定されている。他町村の多くは防災係を設けているが、役場機構に「防災」の名称が付く部署がなく、対外的にも町民の目線からもわかりづらいと考える。

町長は、常態化する異常気象に対応する体制をつくりたいと述べている。その一環として役場機構に防災係を設置する考えは。

防災係を

設置する考えは

町長 第5次行政改革で検討

答弁 村瀬町長

東日本大震災からの教訓として大規模災害への備え、また暴風雨・台風などの自然災害への備えをさらに強化することが求められている。

行政による災害対策の

公助と町民自らが取り組む自助、そして町民が力を合わせ助け合う共助を推進していくこと、加えて道、近隣町村との広域連携による災害時の対応、これらを的確に行う必要がある。

現在、企画課企画係を中心に災害対応など、庁内での体制はできているが、町内外に防災担当の名称を示すことは重要



平成28年度は冬季防災訓練を実施



おだ 小田雅二 議員

なぜ敬老祝金を縮減するのか

町長 財政状況が厳しいため

十勝管内市町村の敬老祝金支給状況

帯広市	88歳 (3万円)・100歳 (祝品)
音更町	80歳 (記念品等)・100歳 (10万円)
士幌町	77歳 (2万円)・88歳 (3万円)・100歳 (10万円)
上士幌町	70歳 (1万円)・88歳 (1万5000円)・100歳 (2万円)
鹿追町	77歳 (1万5000円)・88歳 (2万円)・99歳 (3万円)・100歳 (10万円)
新得町	80歳 (1万円)・88歳 (2万円)・100歳 (5万円)
清水町	平成16年度廃止
芽室町	77歳 (1万円)・88歳 (2万円)・100歳 (5万円)
中札内村	77歳 (3万円)・88歳 (8万円)・99歳 (記念品)
更別村	76歳 (3万円)・87歳 (3万円)・98歳 (3万円)
大樹町	平成19年度廃止
広尾町	70歳 (2万円)・75歳以上で毎年 (2万7000円または2万2000円)
幕別町	80歳 (1万5000円)・87歳 (2万円)・100歳 (5万円)
池田町	100歳 (3万円)
豊頃町	75歳 (2万円)
本別町	85歳 (3万円)・100歳 (10万円)
足寄町	77歳 (1万5000円)・88歳 (3万円)・99歳 (10万円)
陸別町	77歳 (1万円)・88歳 (3万円)・100歳 (10万円)
浦幌町	88歳 (3万円)・100歳 (10万円)

質問

町の行つ継続事業は、極端な社会変化がない限り、続けていく責任が行政にはある。敬老祝金事業は、平成30年度から総額で90%も減額となっており到底認められない。

敬老祝金だけを他町村と比べるのではなく、ほかの各種事業全体を総合的に考慮すべき。広尾町に住むことで専門医療などを十分に受けることができない等、さまざまなハンディも考えると、こ

答弁 村瀬町長

のくらの優遇策は無きに等しく、今回の見直しはすべきでないと思うが。前崎議員にお答えしたとおり。

これまで他町村が住民負担を求める中、本町はできる限りの方策を講じたが、今後財政が立ち行かなくなる見直しとなつたため、制度の見直しを予定している。

おだ 小田雅二 議員

まちづくり計画

大幅な見直しの原因は

町長

収入の減少と

防災対策など事業費の増加

質問

第5次広尾町まちづくり推進総合計画の実施事業が大幅に見直され、第6次計画に先送りされた事業も多い。平成29年度からの赤字で今後10年以内に基金が枯渇する大変な財政危機のためとしているが、原因となる地方交付税の減少、豊似小学校の耐震化、大型施設のボーラー更新もすべてわかつていたことで、突然の大災害等ではない。危機感や節減に対する努力が足りなかったことが最大の原因ではないか。

は、平成33年着工と考えてよいのか。

答弁 笹原教育長

学校施設については、東日本大震災以降、文科省からも早急に耐震化を完了するよう求められており、十勝管内で完了していないのは本町と上士幌町のみである。

こうした状況を踏まえ、豊似小学校の改築を行うが、児童数は平成33年度まで30人台を維持し、10年後の39年度でも20人台を見込んでいる。今後、新規就農等の状況次第では児童数が増加する可能性もあると考えている。

生涯学習センターについては、平成32年度以降

答弁 村瀬町長

に着工を予定しているが、今後の財政状況を踏まえ、広く町民の意見等を聞き、検討していきたい。

まちづくり計画は平成23年から10年間の計画であり、人口減少などの社会情勢、住民ニーズの変化に対応すべく、3年ごとに見直しをしてきた。今回大幅な見直しとなったが、厳しい財政状況の中、将来を見据えた計画を策定した。

生涯学習センター建設については、第6次計画策定時に、もう一度町民の意見を聞き、判断していきたい。



北藤利通 議員

サンタランド事業 今後の展開は

町長 まちの魅力アップに活用

今後、魅力あるまちづくりを進めていく中で、サンタランド事業をどのように展開していくのか。また、マスコットキャラクターの「さーたちん」をもっと活用しては。

せない子どもたちにクリスマスを楽しんでもらおうと「子どもの夢を応援するプロジェクト」を道内企業の協力を得て取り組み、サンタメールの申し込みにつなげている。しかし、平成28年度のサンタメール発送数は1万7822通と前年に比べ661通減少した。

答弁 村瀬町長

質問 広尾町のシンボルである「ひろおサンタランド」は、国内で唯一認定され、さまざまな事業を展開しているが、近年サンタメール事業は申込数が減少しており、大丸山森林公園の来場者も減少傾向となっている。

昭和59年にサンタランドとして認定され、その翌年からサンタメール事業を開始、今年で32年目を迎える。

「愛と平和、感謝と奉仕」の精神をサンタメールを通じて全国に発信している。平成26年度からは、親と暮らす



さーたちん 活躍の場を広げては

平成29年
第2回
臨時会
3/30

平成28年台風災害 被災道路 復旧工事 契約を締結

平成29年第2回臨時会が3月30日に開かれ、工事契約の締結、補正予算を審議。原案どおり可決し、閉会しました。

工事請負契約の締結

平成28年災 協成線道路
災害復旧工事

【契約額】

5032万8000円

【契約相手方】

高堂建設株式会社南十勝支店（野塚772）

町内会女性部連絡会が 議会を傍聴 3/14

町内会女性部連絡会（道端千昌会長）では毎年「議会の傍聴」を実施しており、今回は3月定例会で行われた新年度予算の審査を道端会長ほか12人が傍聴しました。

傍聴してみて

◇思ったよりかかる予算額が多くびっくりすることもあった。

平成28年度 補正予算の内訳

一般会計^⑭

80億4902万円

減

116万円

※会計名の後の丸数字は補正回数

（1万円未満切り捨て）

- ◆町民が直に足を運んでもらい、傍聴してもらう働きかけを積極的に行う必要があるのでは。
- ◆情報・意見交換と行動力には町民も議員も必要ではないか。
- ◆町の将来に希望を持って傍聴したが、残念な意見だった。
- ◆ホームステイ事業の経費がこんなにかかることが今後不安になった。
- ◆質疑が活発であったという間の時間だった。



どうなった？あの質問

過去に行われた一般質問がその後の町政にどう反映されたか、追跡・調査しました。

質問

携帯電話からの緊急通報システム 導入すべきでは
(平成28年3月定例会・前崎 茂議員)

一人暮らしの高齢者世帯が利用できる緊急通報システムは固定電話のみとなっている。携帯電話しか持っていない方も利用できるように携帯型システムも導入すべきでは。



答弁

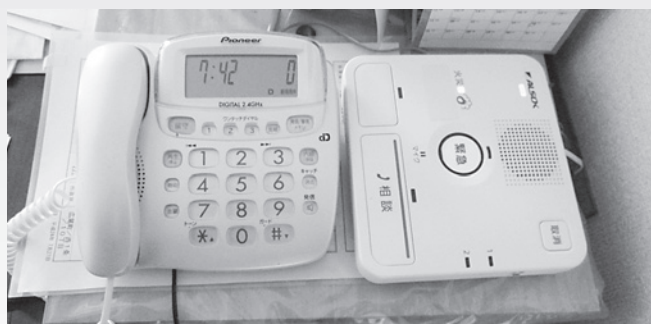
固定電話との選択も検討

民間業者に業務委託するに当たりシステムを変更した際に携帯型も検討したが、火災通報機能がなく紛失の恐れもあることから固定型を導入した。希望者には携帯型を選択できるよう検討する。



希望があれば持ち運びできるシステムも利用可

電波状況等で通報できる地域が限られる等の課題もあるが、希望があれば今後持ち運びできるシステムを利用できるよう委託会社と協議を進めている。



質問

妊婦健診の通院費助成を
(平成28年3月定例会・旗手恵子議員)

北海道の新年度予算に妊婦健診・出産通院費助成費が計上された。広尾町の妊婦は病院まで遠く、苦勞している。町としても通院費助成を検討すべきでは。



答弁

前向きに検討していく

子育て環境充実のため、妊婦健診通院費助成は必要と考えている。広尾町は病院までの距離が遠く大変な現状は理解しているので、前向きに検討していく。



平成28年度から助成開始

平成28年6月補正予算で妊婦健診・産後健診通院にかかる助成費が計上され、4月に遡り実施された。平成29年度も継続して実施されている。

平成28年度の助成状況

項 目	助成額
妊婦健診交通費	136万1120円
出産交通費・宿泊費	12万4360円
1か月健診（交通費・健診費）	38万7990円
聴覚検査	20万2250円
助 成 額 合 計	207万5720円

皆さんからの 意見を

議会活動に反映

～各団体と懇談会を実施～



議会改革の1つの柱として、町民と直接意見を交換し、議会活動に反映させることを目的に、議員を3班に分け町内各団体と「議会懇談会」を開催しています。

現在までに6回の懇談会を開催しました。そこで出された意見とそれに対する議会の考えをお知らせします。

※意見は抜粋して掲載しています。

11/15
NPO法人
のーまひろお

2班
萬亀山、渡辺、
おだ、小田、
浜頭

運営の現状に理解を

年々利用者が増え、施設が狭くなっている。これ以上増えれば受け入れできない。職員不足で送迎に時間もかかっている。

11/21
商工会青年部

1班
浜野、志村、
山谷、旗手

施設建設には将来展望を

施設建設の際は人口減など20年、30年後を見据えて考えてほしい。施設が点在しているので、大きな施設でまとめるのもひとつの手では。

現状を町の担当部署に

伝える。課題解決に向け担当部署と協議していただきたい。議会としても関連予算案を慎重審議し、チェック機能を果たす。

障がい者施設で地域活性化を

町出身者で遠くの町の施設に入っている人も多くいる。大きな障がい者施設を作ればスケールメリットもあるし、雇用の受け皿にもなる。受け入れられる障がい者を増やせば、

町、教育委員会に伝える。

議会としては提案された政策について、しっかりとチェック機能を果たす。

商工業への支援を

商売をやめる人が増えている。新規事業者、後継者の育成支援をしてほしい。

人口増にもつながる。

町部局に伝える。議会としては3年ごとに見直される「障害者計画」の内容を調査研究してみたい。

視察は活動に反映しているのか。

反映している。今後は行政視察や参加した研修会等について各議員からの感想等を新たに議会広報等でお知らせする。

たい。

町内行事にもっと参加を

保育所の運動会や発表会など、町内行事にもっと議員も参加してほしい。その中で町民の活動や課題、現状などを把握してほしい。

議員個々が判断すべきことではあるが、極力行事には参加することで申し合わせを行う。

11/29
社会福祉協議会

3班
北藤、前崎、
星加、小田

事業運営の現状は

介護報酬の引き下げにより、デイサービス事業で約一千万円の減額。町の支援がなければ縮小も検討しなければならぬ。デイサービスの利用者が増えており、施設が狭く増築も検討が必要。

車両の更新を見据えて積み立てている基金を取り崩すよう、町から指導された。

町には他の民間事業者がなく、社会福祉協議会だけである。町部局との合意形成について、十分協議すべき。今後車両の更新、運営資金等に不足が生じた場合は町は支援するとしている。

2/8

広尾高校生徒会

2 班

萬亀山
志村
渡辺
浜頭

※小田議員は欠席し、代わりに志村議員が参加

施設整備を望む

スポーツジムのような施設・設備が欲しい。

また、異世代交流施設があれば、子どもからお年寄りまで触れ合うことができるのでは。

町部局に伝える。議会としても先進地などの事例を調査研究したい。

国保病院の診療科を増やせないか。

現在、通常の内科・外科以外に5つの専門外来を開設している。

町立病院に確認したところ、「診察室がない」、「看護師不足」の理由でこれ以上の開設は無理があるとのこと。



魅力あるサントラランドに

サントラランドのPRが足りないのでは。もっと魅力のあるものに。サントラメール1通500円は高いと思う。郵便小為替が面倒だ。

担当部局に伝える。

町内に下宿があれば、生徒数の増加につながるのでは。

町内の方が現在建設を予定。秋頃の完成を予定している。

あんどん制作支援を

もっと大きなあんどんを作りたいが、人もお金も足りない。素人では法律で足場が2段までしか組めないため、支援してもらえないか。

足場の設置については、町内の建設会社が支援していただけるとのこと。

2/21

広尾漁協女性部

3 班

前崎
星加
小田

※北藤議員は欠席

避難階段の除雪は誰が行うのか。

北海道が設置した避難階段だが、今後町に移管されることになっており、除雪含め維持管理は町が行うこととなる。

3/22

商工会女性部

1 班

浜野、志村、
山谷、旗手

豊似小改築

広尾小と統合すれば多くの行事を楽しむことができ、少年団活動への参加も可能となる。送迎車両を増やせば通学時間にかかる子どもの負担を減

保育所跡地を公園に

旧広尾保育所跡地は現在も遊び場となっている。高齢者も集える公園として整備してほしい。

この件に関しては3月定例会で一般質問があった。

町長答弁 施設は財政状況を勘案し、取り壊しを検討。跡地は町民の意見要望を聞き、有効活用したい。

らせるのでは。

多額の事業費がかかるが、将来的な児童数は。町の財政的にも負担が大きい。改築の見直しはできないのか。

学校がなくなることは地域にも大きな問題。長い時間をかけて地域と協議し、通学にかかる負担軽減など子どもたちの教育環境を考えた結果であると判断し、議決に至った。子どもの減少は避けられないが、町、地域として児童数の確保に取り組んでいただきたい。

ホームステイ事業

ここ数年の実施で都会と広尾町の交流ができた。広尾をPRする事業なので継続してほしい。

サントラランド

恋人の聖地でもあるので、クリスマス時期に人を呼べるイベントを。イルミネーションの期間を長くしてはどうか。

商工懇談会などで意見・要望を出しているが「予算がない」と言われるばかり。町はサントラランドをどうしたいと思っているのか。

様々な提案に対しては、「予算がないからできない」ではなく、事業に賛同するスポンサーを募るなど、財源確保に取り組むことも一つの方法ではないか。

今後も各団体・サークルへおじゃまさせていただき、議会懇談会を実施します。皆さんのご意見をお聞かせください。

「議員と懇談したい」という団体・サークルがありましたら議会事務局までご連絡ください。

次のページは「常任委員会」

考えた!



総務常任委員会

委員長 旗手恵子 副委員長 ^こ小田英勝

調査日 平成29年1月26日

の現状 所管事務調査

今後増える空き家 どう対応するか 地域活性化の資源として有効活用も

適切な管理が行われていない空き家等が防災、衛生、景観面などで地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしている。

そこで、地域住民の生命・身体・財産等の保護、生活環境の保全、空き家等の活用を図るため「空き家等対策の推進に関する特別措置法」が平成27年5月に施行された。

本町での対策経過

空家対策特別措置法の施行に伴い、関係課で全3回の打ち合わせを行い「空き家等の適正管理に関する条例（原案）」を作成するとともに、町内会へ空き家等状況確認調査を実施。

条例案は、平成28年3月定例会において全会一致で可決され、4月1日より施行となった。また、空き家の有効活用により、移住定住を促進し地域活性化を図る目的で「空き家バンク実施要綱」を定めた。

町内会への調査により、

空き家（適正に管理されているものも含む）146戸が確認された。そのうち、特に老朽化が著しい13件（市街地10件・音調津地区2件・野塚地区1件）について、広尾町空き家等対策協議会で現地確認を行い、意見をいただいたところである。

今後の予定

平成29年度は、現在適正に管理されていない空き家について、所有者、管理者へ指導等を行いながら事情把握に努める。

また、国の補助を活用するため、空き家等対策計画の策定を検討する。

今後の空き家等適正管理については、対策協議会へ経過報告をしながら進めていく。

問

空き家をリフォームして、移住者へ提供するなどの対応は考えているか。

答

空き家バンクの発展次第で、今後考えられる。

未利用公共施設の現状と 今後の対応は

施設数（地区別）

地区	施設数	主な施設
市街地	8件	旧清掃センター、広尾・丸山保育所 など
音調津	12件	海浜留学家族向け住宅、音調津中学校 など
野塚	18件	野塚小・中学校、海洋レストハウス など
豊似	*20件	豊似公民館、教員住宅 など
合計	58件	※3月で閉校となった豊似中学校関連施設（15件）も含む。

今後の対応

施設の安全点検を行いながら、維持保全を的確に実施するとともに「広

尾町公共施設等総合管理計画」に基づき、老朽化が進んでいる施設については、できるだけ早い時期に財政状況を見ながら解体除去を検討する。

また、構造（鉄筋コンクリート造）や延べ床面積などにより除去費用が大きくなる海洋レストハウスや野塚中学校などの施設及び教員住宅等については、国の支援措置を活用しながら、計画的に除去する方向で検討する。

問 閉校する豊似中学校を住民開放する予定は。

答 校舎は耐震性能がないため利用は難しいが、体育館は町内会の倉庫として活用できないか協議する。

産業常任委員会

委員長 北藤利通 副委員長 志村國昭

調査日 平成29年2月1日

起業家等支援事業

実績と今後の課題は

商店街の活性化を目指して

見た！
聞いた！



ひろお

常任委員会

事業の概要

新たに事業活動を行う者、新分野での事業活動を行う者を支援し、産業の振興、商店街の活性化、雇用の促進を図ることを目的に平成27年度から開始した。

申請からの流れは、下の図のとおり。

事業実績と今後の予定

平成27年度は4件の認定事業に対し、781万円の補助金を交付した。

平成28年度は12月末で

5件の事業計画が認定、

915万円の補助金交付

が決定し、既に3事業（そ

ば屋・スナック・ジビエ

販売）が開始、残る2事

業（コインランドリー・

レンタカー）も年度内の

開始が予定されている。

※2事業とも平成29年3

月に開始された。

この事業により、起業

への意欲が見られるため

引き続き事業を行ってい

く。

【事業の流れ】

計画書提出
申請者は事業計画書を商工会を経由し町長へ提出

審査
町長は認定の可否にあたり、審査委員会から意見を聞く。審査委員会での事業の継続性、信用性などを審査

認定
審査委員会の審査結果により、町長から申請者へ認定の可否を通知

交付申請
認定となった場合、申請者は補助金交付申請書を町長へ提出

交付決定
町長より交付決定を申請者へ通知し、事業着手

完了
事業完了後、実績報告書を町長へ提出し、補助金（確定）を交付

【補助金額】

◇新規起業

1回限り200万円限度

◇新製品開発

2回まで50万円限度

（1回の限度額は30万円）

※ともに補助対象経費の

2分の1以内

（注）

交付決定前に事業に着手した場合は、対象外となる。

違反行為の発生と対応

平成27年度に認定され、補助金を交付した事業者に違反行為が発生。要綱の定めにより「補助金の取り消し及び返還」を執行することとした。

問 同じように事業を行っている管内市町村の状況は。

答 12市町村が実施。助成額は50万円から400万円。

問 違反があつた場合、本人からの返還不履行が発生することも考えられる。連帯保証を規定すべきでは。

答 内部協議の中で「連帯保証の必要性」などの意見がある一方で「厳しい内容になると起業意欲が鈍り、事業の目的にそぐわないのでは」との懸念もあり規定していなかったが、今後検討しなければならぬ。

←レンタカー



次のページは
「議会日誌・議会報告会」

※ジビエ

フランス語で、シカ、イノシシなど狩猟によって食材として捕獲される野生鳥獣、またはその肉

議会活動日誌

平成29年 3月～平成29年 5月

【3月】

- 2日 第1回議会運営委員会
- 4日 広尾町文化賞・スポーツ賞等表彰式
鈴木宗男新党大地代表を囲む新春のつどい
- 7日 第1回広尾町議会定例会（～17日）
- 8日 第2回議員協議会
- 10日 広尾漁業協同組合 製氷貯氷施設竣工式
- 14日 予算審査特別委員会（16日と2日間）
- 17日 議会広報編集会議
- 22日 議会懇談会（商工会女性部・1班）

【4月】

- 2日 さけます神社春季祭典及び大漁祈願祭
- 8日 自民党北海道第11選挙区支部「第23回定期大会」（帯広市）
- 17日 十勝町村議会議長合同行政視察
（～19日、茨城県常総市・つくば市・水戸市）
- 20日 広尾町農業協同組合通常総会
議会報告会（音調津総合センター・1班）
- 21日 議会報告会（野塚公民館、丸山寿の家・2班）
- 24日 議会報告会（農村環境改善センター、並木寿の家・1班）
- 25日 議会広報編集会議
- 26日 議会報告会（コミセン・2班）
- 29日 川の手荒川まつり（28日～・東京都荒川区）

【5月】

- 9日 第2回総務常任委員会
- 10日 厳島神社春季祭典

- 12日 帯広広尾会総会（帯広市）
- 14日 「第2期ひろお未来塾」開講説明会
広尾町消防団春季消防演習
- 17日 第2回議会広報特別委員会
- 18日 広尾高校学生用下宿新築工事地鎮祭
とかち広域消防事務組合議会定例会（帯広市）
十勝環境複合事務組合議会定例会（帯広市）
- 19日 南十勝正副議長懇話会
- 20日 札幌広尾会総会（札幌市）
- 22日 広尾町北方圏交流振興会総会
- 23日 第2回産業常任委員会
十勝圏活性化推進期成会委員会（帯広市）
- 24日 海難碑・延命地藏尊供養祭
- 26日 広尾町植樹祭

閉会中の所管事務調査

各常任委員会と議会運営委員会は、平成29年第2回定例会までの閉会中に、次の所管事務調査を実施します。

◇総務常任委員会

- ①後期高齢者医療制度の概要等について

◇産業常任委員会

- ①広尾漁業協同組合製氷貯氷施設の概要等について

◇議会運営委員会

- ①議会の運営に関する事項について
- ②議会の基本条例、会議規則等に関する事項について
- ③議長の諮問に関する事項について

議会報告会を開催

～6会場で129人が参加～
ご来場いただき、ありがとうございました



- 【1班】 浜野、志村、山谷、星加
おだ 小田、旗手
 - 【2班】 萬亀山、北藤、前崎、渡辺
こだ 小田、浜頭（副議長）
- 堀田議長
※議長、副議長は全会場に出席しています。

当日出た意見などについては、後日議会だよりや議会速報などでお知らせする予定です。

開催日時	会 場	出席議員	参加人数
4/20（木） 18:30	音調津総合センター	1班	46人
4/21（金） 14:00	野塚公民館	2班	2人
4/21（金） 19:00	丸山寿の家	2班 （北藤欠席）	7人
4/24（月） 14:00	農村環境改善センター	1班	8人
4/24（月） 19:00	並木寿の家	1班	11人
4/26（水） 19:00	コミセン大ホール	2班	55人